

1

- ① じゅっ語
- ② 主語

2

- ① つたえる
- ② 主語とじゅっ語

3

- ① ねている (ねる)
- ② おちてきた (おちた)
- ③ チューリップが (花が)
- ④ ドーナツは
- ⑤ 走る (走っている)
- ⑥ 本・読んでいる (読む)

ましがった問題を確認してみよう！

1

① つぎの文を読んで、あてはまる言葉を書きましょう。

① 「どうする」「どなただ」にあたる言葉

② つぎの文を読んで、正しい方に○をつけよう。

相手に言いたいことをきちんと

① () 伝える
() たずねる
② () 文の長さ
() 主語と述語

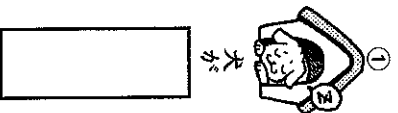
① () 伝える
() たずねる
② () 文の長さ
() 主語と述語

文を作ることが大切です。

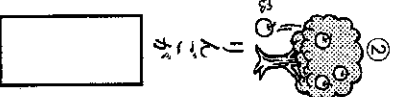
2

3

① 絵におう文を作りましょう。



① 犬が



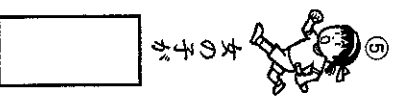
② リンが



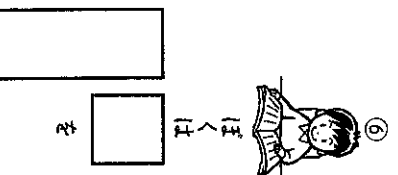
③ きれいだ



④ おいしい



⑤ 女の子が



⑥ ぼくは

1

- ① ふった
- ② 子ども(の)
- ③ 飲む
- ④ かわいい
- ⑤ 行く
- ⑥ 置く
- ⑦ そふ(が)

2

- ① ウ
- ② ア
- ③ エ
- ④ イ

~~~~~  
 まちがった問題を**確認**してみよう！  
 ちゃんだい かくにか

1

次の文の—の言葉がくわしくして  
 いる言葉を○でかこみましよう。

① きのう、ものすごい雨がふった。

② 二人の 子どもの歌声を聞いた。

③ 寒い日に あついお茶 を飲む。

④ とても かわいい人形がある。

⑤ いつか わたしはアメリカに行く。

⑥ 犬の 写真 を 父の部屋に置く。

⑦ いなかの 祖父が作った野菜。

2

次の文の—の言葉をくわしくする  
 言葉としてあうものを、あとからえら  
 んで記号で答えましよう。

① わたしは 新聞を 毎朝 持っていく。

② あれは 去年 見つけた いせぎさだ。

③ 夕ぐれに きれいな 月が のぼる。

④ 明日 ぼくは 遠足に 行く。

ア・となり町で  
 イ・バスで  
 ウ・父のところへ  
 エ・ぼっかりと

1

- ① 木 きへん  
② 女 おんなへん

2

- ① カ ちから  
② 頁 おおがい

3

- ① 人 ④ 手  
② 木 ⑤ 水  
③ 糸 ⑥ 日

まちがった問題を<sup>もんだい</sup>確認<sup>かくにん</sup>してみよう！

2

次の漢字のつくりを□に書き、( )に名前を書きましょう。

- ① 横 — □ ( )  
② 姉 — □ ( )  
③ 糸 — 紙・線・  
④ 才 — 指・投・  
⑤ シ — 波・海・  
⑥ 日 — 明・晴・  
⑦ 顔 — □ ( )  
⑧ 助 — □ ( )

1

次の漢字のへんを□に書き、( )に名前を書きましょう。

- ① イ — 住・体・  
② 木 — 柱・板・  
③ 糸 — 紙・線・  
④ 才 — 指・投・  
⑤ シ — 波・海・  
⑥ 日 — 明・晴・  
⑦ 人

3 次のへんのついた漢字は、何に関係がありますか。含うものを一でむすびましょう。



1

(例文) そこの角を曲がると学校があります。また、あっちにはのら犬がいます。行くとどんなことになるかこわいので、この道をおりましょう。

2

- ① あそこ (あっち, あちら)
- ② この
- ③ そこ (ここ, こっち, こちら)

~~~~~ あんだい かくにん ~~~~~

まちがった問題を確認してみよう！

この・どんな・あっち・そこ

1

次の「こそあど言葉」を使って、文を書きましょう。

2

次の絵を見て、下の文の□に当てはまる「こそあど言葉」を書きましょう。

